



CLUB グループ

女性の美を育み続けて100有余年

2015年07月  
株式会社 クラブコスメチックス



CLUB cosmetics CO., LTD.

報道各位

# 「100年の時を超え・・・通天閣の天井画を復刻」

～2015年07月03日、竣工式・点灯式を挙行～

通天閣の脚部天井に“花園に遊ぶクジャク図”が甦る



照明を浴びて華やぎを増す「新・天井画」(2015.7.3撮影)



通天閣(大阪市浪速区)

株式会社クラブコスメチックス(大阪市西区西本町2丁目6番11号 代表取締役社長 中山 ユカリ)が、「通天閣」免震改修工事と連動して寄贈することを発表しておりました脚部天井画の取付工事が完了し、7月3日に竣工式ならびに点灯式が挙行されました。この天井画は、明治45年に完成した初代通天閣のエントランスに、当社の前身である「中山太陽堂」が広告として掲出しておりました天井画を復刻寄贈したもので、100年の時を超え現代に甦りました。

7月3日の竣工式に続いて行われた点灯式では、社長の中山が今回、天井画を寄贈できた喜びとともに制作・取付に尽力いただいた方々への感謝の思いを表明。同日19:30には、初めて照明が灯され鮮やかさを増した天井画が浮かび上がりました。

## 新・天井画寄贈までの経緯

### ○2014年07月

「未来」と「継承」をテーマに、通天閣「NEXT210(ツーテン)」プロジェクトがキックオフ。私ども株式会社クラブコスメチックスではこのプロジェクトの趣旨に賛同し、創業者 中山太一の文化への思いを引き継ぎ、「文化と娯楽の発信拠点」であった初代通天閣(明治45年竣工)のエントランスにあった「天井画」を復刻・寄贈することで、通天閣の「原点の継承」の一端を担いたいと「新・天井画」を寄贈することといたしました。

### ○2014年08月～(復刻方法などを検討)

制作に着手するにあたり、初代天井画に関する調査ならびに復刻方法の検討を開始。復刻にあたっての課題は『できるだけ初代天井画に忠実なこと』に加え、『初代天井画の質の高さ、品格を踏襲すること』でした。

所蔵史料(天井画の白黒写真)と初代天井画の作者である版画家「織田一磨」氏(1882.11.10～1956.03.08)の草稿をもとに約2ヶ月間検討を重ね、当社のモットーでもある「クオリティの追求(品質最優先主義)」を重視し、新たに肉筆で原画を描き天井画を再現させることに決定しました。

### ○2014年11月～2015年03月(原画制作)

原画の制作を動植物など自然の風物を描かれることが多い新進の日本画家「沖谷晃司」氏(1971.08.11生まれ)に依頼。

骨描き(墨で輪郭を描く)、彩色(色をのせる)の2段階で、作品を原寸に拡大して10mの高さに掲げ、目視確認も実施しました。1m70cm四方の原画が完成したのは2014年03月の初旬でした。

### ○2015年03月中旬(デジタル化)

完成した原画をフルサイズでスキャンした後、初代と同じ品名を加えました。

### ○2015年04月

天井に貼付するフィルム(原画の約10倍大 1m×6m×54枚)を作成し、貼付工事を開始しました。

### ○2015年05月23日

貼付工事が完了。足場等を撤収し、2015年07月03日、無事、竣工式・点灯式を迎えることができました。



初代天井画(当社所蔵絵葉書より)



新・天井画 原画(沖谷晃司氏画)

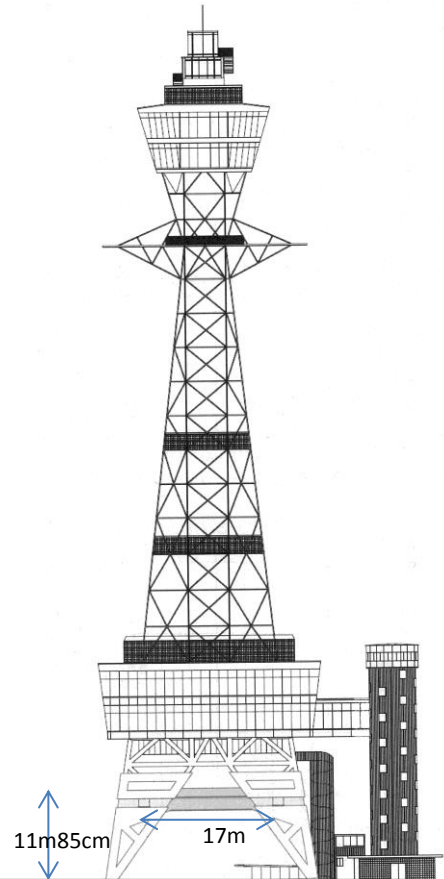
## 新・天井画の原画について

- 画 題:「花園に遊ぶクジャク図」\*1
- 原 案:織田 一磨(略歴別紙添付 別紙1)
- 作 者:沖谷 晃司(略歴別紙添付 別紙2)
- 素 材:雲肌麻紙 岩絵の具
- サイズ:1m70cm×1m70cm

\*1 画題の「花園に遊ぶクジャク図」は、『通天閣30年のあゆみ』に記載されていた当時の通天閣観光株式会社 代表取締役社長であった西上 一氏の一文…「アーチ型の塔脚の天井いっぱいに描かれた、花園に遊ぶクジャクの姿は、今でも目に焼き付いて離れません。実に美しいものでした」からつけたものです。

## 新・天井画について

- 原画をデジタル化し、フィルムに加工しました。
- 新・天井画は八角形(縦横とも最長部が約17m)です。
- 取り付けられている天井部までの高さは11m85cmです。



### 【リリースのお問い合わせ先】

\* 本件に関しましては、株式会社クラブコスメチックス 広報・販促課が承ります。

- ・担当 大川 ・ 木下 ・ 福田
- e-mail info3@clubcosmetics.co.jp
- TEL 06-6531-2997
- FAX 06-6531-3007
- URL www.clubcosmetics.co.jp

## 別紙 1

○織田 一磨(おだ かずま)氏 1882.11.10～1956.03.08 版画家

「自画石版の織田 一磨」として知られている。

- ・1911(明治44)年06月:中山太陽堂 大阪広告部の嘱託社員となる。  
(大阪帝国新聞社 美術部にも籍を置き兼任)
- ・1911(明治44)年09月:大阪帝国新聞社を辞め、中山太陽堂専従となる。
- ・1912(明治45)年07月:通天閣天井部の装飾をクラブ化粧品の広告として手掛ける。  
(昭和18年に火災で焼失)。
- ・1914(大正03)年03月:サラリーマン生活を捨て、東京に移って芸術活動に専心する。



初代天井画の草稿(織田一磨氏画)  
画像提供:町田市立国際版画美術館

## 別紙 2

○沖谷 晃司(おきたに こうじ)氏 日本画家

- ・1971(昭和46)年:石川県に生まれる
- ・1995(平成07)年:青垣2001年日本画展にて読売新聞社賞受賞  
創画展 初入選(以後出品)
- ・1997(平成09)年:京都市立芸術大学 大学院修了
- ・1998(平成10)年:花鳥画展にて大賞受賞(松伯美術館)
- ・2007(平成19)年:新鋭作家選抜シリーズ展  
新鋭作家シリーズ展2007(HONMACHI ART GALLERY・大阪市)
- ・2009(平成21)年:芦屋市立谷崎潤一郎記念館にて個展開催  
その他、個展・グループ展多数



沖谷 晃司 氏



骨描き(沖谷氏の京都府亀岡市のアトリエにて)



彩 色(沖谷氏の京都府亀岡市のアトリエにて)

## 別紙 3

### ○株式会社クラブコスメチックス略年譜

- ・明治36(1903)年 創業者 中山太一が神戸市に「中山太陽堂」創業
- ・明治39(1906)年 創製第一号商品「クラブ洗粉」を発売
- ・明治40(1907)年 本店を大阪南御堂前に移す
- ・明治41(1908)年 「クラブ洗粉」の年間売上が900万個を突破
- ・明治43(1910)年 ロンドンで開催された日英博覧会に「クラブ洗粉」を出品(一等金牌受賞)
- ・明治44(1911)年 現在に続く超ロングセラー「クラブ美身クリーム」を発売
- ・明治45(1912)年 通天閣塔脚部天井に「クラブ洗粉」等の広告を出す
- ・大正02(1913)年 飛行機を使った航空広告を展開
- ・大正07(1918)年 大阪市南区(現・浪速区)水崎町に近代工場竣工
- ・大正11(1922)年 大阪市の迎賓館ともなった六甲太陽閣竣工
- ・大正13(1924)年 北京に「正陽公司」を設立  
大阪堂島ビルディングに中山文化研究所を開設
- ・大正14(1925)年 上海に「太陽公司」を設立
- ・昭和10(1935)年 ホルモンを配合した薬用クリームを発売
- ・昭和12(1937)年 台湾に天然香料試験工場を設置
- ・昭和14(1939)年 個人経営を改め株式会社中山太陽堂に組織変更
- ・昭和15(1940)年 奉天工場、上海工場での生産を開始
- ・昭和33(1958)年 ハイティーン向け基礎化粧品「ラブ」シリーズ発売
- ・昭和34(1959)年 「お肌の診断」企画に応募が殺到
- ・昭和45(1970)年 製販を分離、クラブ商事株式会社新設
- ・昭和46(1971)年 社名を現在の株式会社クラブコスメチックスに変更
- ・昭和48(1973)年 グループ会社、株式会社フルベールを設立
- ・昭和51(1976)年 大阪市西区の現在地に本社タイヨービル竣工  
奈良県五條市に新工場竣工
- ・平成10(1998)年 奈良県生駒市に化粧品文化研究所竣工
- ・平成16(2004)年 ISO:9001の認証を取得
- ・平成17(2005)年 クラブ化粧品販売株式会社(旧・クラブ商事)と合併
- ・平成18(2006)年 本社ビル1階に文化資料室を開設
- ・平成21(2009)年 本社ビルを解体、新築。新タイヨービル竣工
- ・平成22(2010)年 長崎県五島市と産業振興協定し、「SHIZEN 玉椿石鹸」を発売
- ・平成24(2012)年 株式会社サロンドフルベール(旧・フルベール)と合併
- ・平成27(2015)年 奈良県薬事研究センターと「ならこすめ」を共同開発  
大阪通天閣のエントランスに天井画を寄贈



クラブ洗粉



通天閣下の中山太一



大阪水崎町の本店・工場図



ホルモン配合 薬用クリーム



本社 タイヨービル



ならこすめ